

## タフテック®H1041の耐油・耐薬品性

薬品・油	浸漬後の変化	薬品・油	浸漬後の変化
＜炭化水素類＞		＜アルコール類＞	
ペンタン	×	メタノール	○
ヘキサン	×	エタノール	○
ヘプタン	×	プロパノール	○
ベンゼン	×	イソプロパノール	○
トルエン	×	ブタノール	○
キシレン	×	＜エーテル類＞	
エチルベンゼン	×	ジエチルエーテル	×
スチレン	×	THF	×
ケロシン	×	1,4-ジオキサン	△
＜ハロゲン化炭化水素類＞		モノグライム	△
ジクロロメタン	×	＜ケトン類＞	
クロロホルム	×	アセトン	○
四塩化炭素	×	MEK	○
1,2-ジクロロエタン	△	MIBK	○
1,1,1-トリクロロエタン	×	＜エステル類＞	
1,1,2-トリクロロエチレン	×	酢酸エチル	○
クロロベンゼン	×	＜その他＞	
ベンジルクロライド	△	酢酸	○
＜アミン類＞		二酸化炭素	×
ジエチルアミン	×	DMF	○
ジブチルアミン	×	DMSO	○
トリエチルアミン	×	ジグライム	○
アニリン	△	ジエチレングリコール	○
ピリジン	○	エチルセロソルブアセテート	○

(注) 本表はタフテック®H1041を例とした参考データです。全てのタフテック®に関する耐油・耐薬品性を保証するものではありません。

\* 10wt%溶液として室温で3時間振った後、外観を確認した。○:変化無し、△:膨潤、×:溶解